

Vol.  
**66**  
2020  
AUTUMN

 山梨県の広報誌

# ふれあい FUREAI



「山梨チャンネルPRリーダーMINAMIさん」  
県の公式YouTubeチャンネルを使って、山梨の魅力  
を県内外の若者にPRするため、県内在住の中学  
生MINAMIさんを山梨チャンネルPRリーダーに  
任命しました。詳しくはP12「NEXT」をご覧ください。

P2

**新型コロナウイルス感染症に  
県民一丸となって立ち向かう**

P14

**“Cave de ワイン県やまなし”  
東京・日本橋にリニューアルオープン**



キックオフイベントでサクランボ狩りをする長崎知事と静岡県の川勝知事

# 「バイ・ふじのくに」で旬の特産品を買って生産者を支援

新型コロナウイルス感染症の影響で、本県の農畜水産物の売り上げも大きな打撃を受けています。これまで県では、県産果実や野菜をパックにして配送販売を企画するなど、生産者支援に取り組んできました。そして5月からは、静岡県と協力して、両県の旬の農畜水産物などを相互に購入し合う「バイ・ふじのくに」の取り組みが始まっています。この取り組みにより、生産者をさらに支援するとともに、両県の物的・人的交流を積極的に推進していきます。

## 「バイ・ふじのくに」を合言葉に山梨・静岡県が協力し助け合う

新型コロナウイルス感染症により、山梨・静岡県両県の農畜水産物の売り上げが落ち込む中、静岡県の川勝知事からの提案で、富士山を取り囲む両県の旬の農産物や海産物などを互いに購入し生産者を支援する取り組み「バイ・ふじのくに」が始まりました。「バイ」は、英語で「買う（BUY）」と「寄り添う（BY）」をかけて「買ってつながる」を意味します。

5月に南アルプス市で開催されたキックオフイベントでは川勝知事が来県してサクランボ狩りを、6月には長崎知事が静岡県沼津市の内浦漁協直営店を訪問してアジの試食をするなど、二人の知事がそろって両県の特産品をアピールし、また、互いの県の特産品を味わいながらアイデアを出し合い、今後の協力方法について意

## 見交換しました。

本県では新型コロナウイルス感染症の影響により買いたい物に苦労している消費者や、売り上げが低迷する生産者などの支援につながるため、農畜水産物を詰め合わせた「愛情♡やまなし農産物パック」を大都市圏などに向けて販売しています。今回、バイ・ふじのくにの取り組みを機に両県の食材を組み合わせたメニュー「ふじのくに愛情パック」を企画しました。他にも、岡島百貨店では静岡県産マスクメロンの販売会が、スーパーのオギノでは静岡フェアが開催されました。さらに、静岡伊勢丹では南アルプス市産サクランボの販売会、オギノの静岡県内の店舗では山梨フェアが催されるなど、両県の魅力ある特産品の販売やPRを進めてきました。今後も、両県内に特設会場を設けて、互いの特産品を販売する物産市を開催する予定です。

9月7日時点での情報を基に作成されています。

## 「バイ・ふじのくに」の取り組み



静岡伊勢丹で開催された南アルプス市産サクランボの販売会



スーパーのオギノでは静岡県内店舗で山梨フェア(右) 県内店舗で静岡フェア(左)を開催



静岡特産のアジを使った料理を試食する両県知事



岡島百貨店で販売された静岡県産マスクメロン



両県で共通使用している「バイ・ふじのくに」ロゴマーク



両県の食材を組み合わせた「ふじのくに愛情パック」

### 静岡県との人的交流も活発に

新型コロナウイルス感染症による外出自粛などの影響で、首都圏からの観光客が減少しています。しかし、山梨と静岡の間には往来自粛が求められていないことから、バイ・ふじのくにの取り組みの一環として、中部横断自動車道を活用するなどした人的交流も推進しています。

そこで、モモやブドウなどが旬を迎えるこの時期に、観光客の減少で苦しい経営状況が続いている観光果実園を支援する「バイ・ふじのくにやまなし観光果実園

園特典キャンペーン」に取り組んでいます。この取り組みは、キャンペーンに参加する県内の観光果実園を訪れた静岡県の皆さんに、特典として、観光果実園が独自に企画した料金割引やプレゼントなどを提供するものです。観光客の本県への訪問を促し、観光果実園の売り上げ向上につながるものと期待されています。

さらに、両県の文化交流の促進を目的とした、県立文化施設の観覧料などを割引するキャンペーンを実施するなど、さまざまなチャンネルで両県の人的交流を活性化させ、幅広い支援へ展開しています。

### 「やまなし観光果実園特典キャンペーン」に期待

当園のお客さんは、これまで東京を中心とした関東圏からお越しになる団体客が約8割を占めていました。しかし、新型コロナウイルス感染症により団体客のキャンセルが相次ぎ、個人客の獲得が急務となりました。そこで、感染予防対策を進め、インターネットを使った情報発信も続けていますが、1つの企業にできることには限界があります。

今回「バイ・ふじのくに」に関連し、これまで少なかった静岡県からの個人客の誘客につながる「やまなし観光果実園特典キャンペーン」に参加して、そのチラシを持った個人のお客さんも増えてきました。

来年、中部横断自動車道が全線開通すれば、山梨県と静岡県の間は交通の利便性がさらに高まります。グリーン・ゾーン認証も取得して感染予防対策にも取り組んでいますので、このキャンペーンを機に訪れていただいたお客さんが、来年以降、リピーターとなってくださることを期待しています。



御坂農園グレープハウス 常務取締役  
上野 泰宏さん

# 避難所でも感染症対策を！

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、自然災害発生時に開設される避難所での感染予防や拡大防止などの感染症対策は、喫緊の課題となっています。県や市町村では、マニュアルの改訂や訓練の実施などにより、感染症対策を考慮した、避難所の運営方法の見直しを進めています。

## マニュアルなどにより 感染症対策を後押し

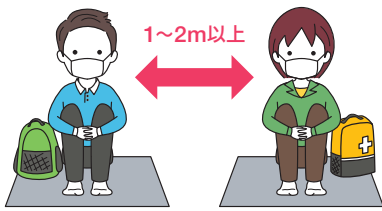
感染症対策を考慮した避難所運営を県民などが円滑に行えるよう、県

は、6月に「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営マニュアル作成指針」を策定しました。指針では、避難所での基本的な感染症対策の徹底、3密回避のための運営方法や設備などについて示しています。

このほかにも、市町村が宿泊施設を避難所として利用する場合の経費の補助、避難所で使用する段ボール製の間仕切りやベッドの配付などを行っています。

避難とは「避難所へ行く」ことではなく「難を避ける」ことです。密集を避けるための避難所以外の避難先の確保や、マスクや消毒液の準備など、感染症対策を意識した避難生活の準備をお願いします。

避難所では3密を避けましょう



避難所の密集を避けるため  
避難所以外(自宅・親戚・知人宅など)への  
避難を検討しましょう



マスク、体温計、消毒液を  
非常用持出袋で持参しましょう



# 感染症対策を意識した訓練で課題に対応

韮崎市では、避難所における感染症対策を速やかに検討するために、例年より3カ月ほど早め、6月に避難所開設訓練を実施しました。訓練では、避難者の受け入れ手順や体調に応じた誘導方法の確認、段ボール製の間仕切りを使用した居住スペースの割り振りなどを行いました。

参加した職員からは、受け入れ時の混雑による密集状態の発生、感染の疑いがない避難者と、疑いがある避難者の居住スペースや動線を分離して設定する方法、施設の消毒に使うアルコール消毒液の準備不足などの課題が挙がりました。



韮崎市 総務課  
主査 小野 貴史さん

また、間仕切りで世帯ごとの間隔を確保すると、避難所の受け入れ可能人数がこれまでの5分の1程度になることもわかりました。これらを踏まえ、避難所の運営マニュアルに感染症対策を追加し、住民の皆さんには、受け付け時に必要となる避難者名簿の事前作成や避難所以外の避難先の確保、マスクや消毒液の準備などをお願いするとともに、課題を踏まえた訓練を8月に実施しました。

今後も訓練などを行う中で、課題に対応しながら、避難所における感染症対策を進めていきたいと考えています。



居住スペースや動線を確認する訓練の様子



受け入れ時には検温を実施

# 県の主な取り組み

(5月29日以降)



|       |  |
|-------|--|
| 6月 1日 | ワイン県やまなし家飲みキャンペーン「おうちでワイン県」を開始(7月31日まで)  |
| 6月 8日 | 認証制度のコンセプトや感染症予防対策ガイドライン作成基準案などについて検討する、<br><b>第1回やまなしグリーン・ゾーン認証制度専門家委員会を開催</b>  |
| 6月10日 | 新型コロナウイルス感染症により働き方などが変わることを踏まえ、山梨が進むべき方向性などについて議論する、<br>第2回やまなし自然首都圏構想研究会を開催   |
| 6月15日 | 県教育委員会が、県立高校・特別支援学校の児童生徒が利用する臨時スクールバスの運行を開始<br>(7月1日からは私立高校の生徒に拡大)<br>「バイ・ふじのくに」静岡県キックオフイベントに長崎知事が出席   |
| 6月16日 | 知事が県民や事業者へ6月19日から7月9日まで継続して感染拡大防止対策を講じるよう協力を要請<br>・特定都道府県であった地域との往来自粛を解除<br>・一定規模以上のイベントの参加人数などの基準(1,000人以下など)を緩和<br>・プロスポーツの試合は、感染防止対策などを徹底し、無観客で開催<br>感染症との共存が必要となる時代に対応する二拠点居住のライフスタイルについて、<br>大月市をモデルケースとして検討する、第1回山梨県デュアルベースタウン研究会を開催(第2回は7月16日に開催) |
| 6月17日 | やまなしグリーン・ゾーン認証制度の認証基準となる「感染症予防対策に係る基準」を公表  |
| 6月18日 | 6月定例県議会へ新型コロナウイルス感染症対応<br><b>関連予算(一般会計予算額382億4,900万円余)を含む予算案を提案</b>  |
| 6月19日 | 「手作りマスクプロジェクト」の出荷式を開催(写真1)<br><b>新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営マニュアル作成指針を策定</b>  |
| 6月25日 | オンライン会議システムを活用したウェブ合同就職フェアを開催<br>やまなしグリーン・ゾーン認証申請の受付を開始  |
| 6月26日 | 6月定例県議会へ新型コロナウイルス感染症対応<br><b>関連予算案を追加提案(一般会計予算額170億9,600万円余)</b>   |
| 6月28日 | 「ポストコロナ時代の移住を考えるやまなし暮らしセミナー」を開催  |
| 6月29日 | 知事が東京都の小池知事と面会し、新型コロナウイルス対応など、両都県の連携について話し合う協議会の設置を合意<br>持続化給付金相談専用ダイヤルの設置期間を延長<br>飲食店応援企画「お取り寄せ県庁」を開催(7月3日まで)   |
| 7月 1日 | 「バイ・ふじのくに」山梨・静岡文化交流 県立美術館・博物館などの観覧料割引を実施(8月31日まで)  |
| 7月 2日 | 県職員・市町村職員を対象に、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営の実技講習会を開催  |
| 7月 8日 | 知事が県民や事業者へ7月10日から7月31日まで継続して感染拡大防止対策を講じるよう協力を要請<br>・一定規模以上のイベントの参加人数などの基準(5,000人以下など)を緩和<br>・プロスポーツの試合の観客数の制限(無観客)を撤廃<br><b>新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)で感染者との接触が確認された方全員にPCR検査を可能とする、<br/>山梨県独自の取り組みを開始</b><br>認証を受けた施設が店頭などに掲示するやまなしグリーン・ゾーン認証マークを決定        |
| 7月10日 | 事業者の感染予防対策への取り組みを支援する「機器購入等支援金」「設備改修補助金」受給申請の受付を開始   |
| 7月13日 | 雇用調整助成金専門相談ダイヤルを設置(9月30日まで)<br>「バイ・ふじのくに やまなし観光果実園特典キャンペーン」を開始(12月20日まで)   |
| 7月14日 | やまなしグリーン・ゾーン認証制度の普及促進に向け、知事と県内27市町村長がオンライン会議で意見を交換   |
| 7月16日 | 「 <b>新型コロナウイルス感染症対応休業支援金</b> 」申請のための相談窓口を開設(9月30日まで)<br>新たな患者推計、病床確保計画などを検討する、第3回山梨県新型コロナウイルス感染症医療対策会議を開催  |
| 7月17日 | 知事が県民へ、東京などの感染が拡大している地域への外出時には十分注意して行動するよう、<br>また県内事業者へ、県が示したガイドラインに則った感染防止対策を徹底するよう緊急メッセージを発表<br><b>やまなしグリーン・ゾーン認証マークの初回交付式を開催(9月4日現在で累計519件を認証済み)</b> (写真2)  |
| 7月21日 | 「Go Toトラベルキャンペーン」の開始に向け、宿泊施設へ消毒液を配付  |
| 7月22日 | 知事が西村経済再生担当大臣と面会し、やまなしグリーン・ゾーン認証制度や、<br>(仮称)疾病対策管理センター(山梨版CDC)について説明、意見を交換<br>山小屋施設の感染予防対策への取り組みを支援する「機器購入等支援金」<br><b>「設備改修等補助金」受給申請の受付を開始</b>   |



(写真1) 出荷式で園児と会話する長崎知事



(写真2) 認証マークを店頭に掲示

|       |  |  |
|-------|--|--|
| 7月24日 | 知事から緊急メッセージを発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者へ、休業協力要請の個別解除の前提となっているガイドラインの遵守を徹底するよう依頼</li> <li>・事業者からのマスク着用などの求めに応じない来訪者に対しては、妥協することなく徹底した対応をとるよう依頼</li> <li>・県外からの来訪者に対し、マスク着用などの感染防止対策をとるよう依頼</li> <li>・県民に、再度、基本的な感染防止対策を励行し、また、発熱など体調に不安がある場合には、速やかに保健所に相談するよう依頼</li> </ul> |  |
| 7月27日 | やまなしグリーン・ゾーン構想の推進体制強化のため、8月1日付けで「グリーン・ゾーン推進課」を新設することなどを発表  |  |
| 7月28日 | 「愛情♡やまなし農産物パック」第3弾の販売開始(10月末まで)  |  |
| 7月29日 | 知事が県民や事業者へ、8月1日から8月31日まで継続して感染防止対策などを講じるよう協力を要請 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「うつらない」「うつさない」ための行動をとるよう依頼</li> <li>・事業者に対し、休業協力要請の個別解除の前提となっているガイドラインの遵守の徹底を再度依頼</li> <li>・グリーン・ゾーン認証の取得に向けた積極的な協力を依頼</li> </ul>  |   |
| 7月31日 | 市町村に、避難所における感染防止対策用物資(段ボール製ベッド・パーティション)の配付を開始(写真3)   |  |
| 8月 1日 | 新型コロナウイルス感染症の予防のため、18歳以上の県民を対象とした無料歯科健診を開始(10月31日まで)   |  |
| 8月 4日 | 知事が県民へ、お盆の帰省の検討、帰省時の感染防止対策に十分留意するよう依頼<br><b>医療従事者への寄付金の申し出が全950件、総額1億5,021万5,206円となったことを発表</b>   |  |
| 8月 7日 | 知事が県民へ「第2波」を迎えている状況にあるため、改めて感染防止対策を強化するようメッセージを発表<br><b>休業協力要請の個別解除に関する相談ダイヤルの設置を発表(8月8日から)</b><br>入院患者数が30人を超えたことから、 <b>病床確保のフェーズⅡを発動し</b> 、対応可能な病床数を130床まで引き上げることを発表   |  |
| 8月20日 | やまなしグリーン・ゾーン認証を受けた宿泊施設への誘客を支援する<br><b>「高付加価値宿泊施設誘客促進事業(やまなしグリーン・ゾーン宿泊割り)」の事業者説明会を開始(8月28日から宿泊料金の割引を開始)</b>   |  |
| 8月21日 | <b>ピーク時における入院患者用の病床285床、宿泊療養施設の100室を確保したことを発表</b>  |  |
| 8月26日 | 沖縄県知事からの要請を受け、沖縄県に県立中央病院の看護師を派遣(写真4)<br>グリーン・ゾーン認証を受けた飲食店などを登録対象とした、Go To Eatキャンペーン事業が国に採択されたことを発表<br>やまなし自然首都圏構想研究会 第1回自然首都圏構想推進部会を開催   | (写真4) 出発式で看護師を激励する長崎知事   |
| 8月27日 | 知事が県民や事業者へ、9月1日から9月30日まで継続して感染防止対策などを講じるよう協力を要請 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2波の最中であることや、避難所での感染リスクを念頭に、緊張感を持ち警戒するよう依頼</li> <li>・個別解除方式による感染拡大防止効果などを踏まえ、休業協力要請継続への理解を求める</li> </ul>   |  |
| 8月28日 | <b>「新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金」申請の受付を開始</b>  |  |

## 相談ダイヤル・相談窓口

### 新型コロナウイルス感染が疑われる方の保健所相談窓口

**発熱**があり、かつ次のいずれかの症状に該当する

**風邪症状(咳、のどの痛み、頭痛、倦怠感など)**がある

**味やにおいが分からないなどの異常を感じる**

場合には、外出を控え、お早めに保健所へご相談ください。

- 中北保健所 TEL 0551-23-3074
- 峡東保健所 TEL 0553-20-2752
- 峡南保健所 TEL 0556-22-8158
- 富士・東部保健所 TEL 0555-24-9035
- 甲府市保健所 TEL 055-237-8952

### 新型コロナウイルス感染症専用相談ダイヤル

保健所への相談目安に該当しない体調への不安や、感染の予防に関する相談を受け付けています。

**【受付時間】**午前9時～午後9時(土日祝日を含む)

**【問い合わせ先】**TEL 0570-036366 FAX 055-223-1499

### ガイドラインによる休業協力要請の個別解除に関する相談ダイヤル

休業協力要請の対象で、個別解除の申請をしていない事業者からの相談を受け付けています。

**【受付時間】**午前9時～午後5時(平日)

**【問い合わせ先】**TEL 055-223-1326

# 新型コロナウイルス感染症対策

## やまなしグリーン・ゾーン認証申請受付

県内外の消費者の安心・信頼を獲得するため、事業者の感染症予防対策への取り組みを県が認証します。認証事業者は店舗などに認証マークを掲示し、広告物などに「やまなしグリーン・ゾーン認証施設」と表示できます。

【対象業種】飲食業、宿泊業

【申請方法】「やまなしグリーン・ゾーン認証」サイトの申請フォームへの入力  
または申請書を郵送

【問い合わせ先】やまなしグリーン・ゾーン認証事務局  
TEL 055-222-0384

【受付時間】午前9時30分～午後5時30分(平日)



## COCOAをインストールしましょう

感染者と1m以内、15分以上接触した可能性がある場合に新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)から通知されます。感染者との接触がアプリで確認された方全員がPCR検査を受けることができますので、インストールをお願いします。

【問い合わせ先】

健康増進課  
TEL 055-223-1493  
FAX 055-223-1499



Google playからは  
こちら



App Storeからは  
こちら



## 事業者が行う感染症予防対策への支援

### 機器購入支援金

【対象事業】キャッシュレス決済の導入、感染症予防のための備品・消耗品の購入(4月20日以降に購入したものが対象)

【対象者・支援額等】タイプ1(小規模事業者を対象)  
対象経費の全額、5万円以上 30万円以下(1店舗・施設当たり)  
タイプ2(宿泊事業者を対象)  
対象経費の3/4以内、上限300万円(1施設当たり)

【申請期限】令和3年2月28日

【問い合わせ先】

新しい生活様式推進機器購入等支援事業事務局  
TEL 055-237-6600

【受付時間】午前10時～午後5時(平日)



山梨 機器支援



## ひとり親世帯への支援

### ひとり親世帯臨時特別給付金

新型コロナウイルス感染症の影響により生じた、ひとり親世帯の子育ての負担増加や収入の減少に対する支援のため、臨時特別給付金を支給します。児童扶養手当を受給していない方も、要件を満たす場合は対象となります。

【問い合わせ先】

(制度について)  
厚生労働省コールセンター TEL 0120-400-903  
(手続きについて)各市町村ひとり親支援担当窓口

### 設備改修補助金

【対象事業】換気設備、自動水栓などグリーン・ゾーン認証基準に沿った設備改修工事(4月20日以降に着手し、令和3年3月15日までに完了するものが対象)

【対象者】飲食業、宿泊業を営む小規模事業者

【補助額等】

対象経費の3/4以内、上限150万円(1店舗・施設当たり)

【申請期限】令和3年2月28日

【問い合わせ先】

新しい生活様式推進設備改修等支援事業事務局  
TEL 055-236-1230 FAX 055-226-0580

【受付時間】午前9時～午後5時(平日)



山梨 設備補助



## 18歳以上の県民への支援

### 無料歯科健診

専門的な口腔ケアを行うことで、ウイルスが体内に入る可能性を抑え、感染予防につながります。18歳以上の県民に対し、歯ぐき・歯・舌の診査と口腔衛生指導を無料で行っていきます。

【対象期間】～10月31日

【場所】県内の歯科診療所

【受付方法】歯科診療所に電話予約

(予約の際は「新型コロナウイルス感染症の無料歯科健診」とお伝えください)

【問い合わせ先】山梨県歯科医師会 TEL 055-252-6481



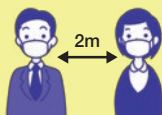
新型コロナウイルス感染症に関する総合情報は  
県ホームページをご覧ください

山梨 新型コロナウイルス



3つの基本を習慣に!  
感染症予防対策を  
続けてください。

① 人との間隔は  
できるだけ2m



② マスクを着用し、  
咳エチケットを守る



③ 手洗い  
(30秒程度)



# 山梨を「自然首都圏」に

## — 危機の時こそ 変革の絶好機 —

新型コロナウイルス感染症の※パンデミックにより、私たちは外出や営業の自粛といった数々の危機への対応を余儀なくされています。また、今回のコロナ危機により、今後の生活や仕事のあり方は大きく変わると予想されます。

これから迎えるパンデミックの時代を見据え、県が主宰する「やまなし自然首都圏構想研究会」の顧問で、本県を拠点に国内外で活躍されている、多摩大学大学院の田坂広志名誉教授に、山梨の魅力や未来に向けた課題について伺いました。

※パンデミック：感染症や伝染病が世界的に大流行する状態のこと



多摩大学大学院

名誉教授 **田坂 広志**さん

東京大学卒業。同大学院修了。工学博士（原子力工学）。米国シンクタンク・パテル記念研究所客員研究員、日本総合研究所取締役を経て、現在、多摩大学大学院名誉教授。全国6,100名の経営者やリーダーが集う田坂塾・塾長。4人のノーベル平和賞受賞者が名誉会員を務める世界賢人会議ブダペストクラブ日本代表。世界経済フォーラム（ダボス会議）Global Agenda Council元メンバー。元内閣官房参与。著書は『目に見えない資本主義』『知性を磨く』『運気を磨く』など国内外で90冊余。

豊かな自然環境の中から  
世界とつながる

私は富士山と富士五湖の自然が好きで、40年以上前からたびたび山梨を訪れてきました。現在は、自宅を河口湖周辺に移し、富士山麓の原生林の中で生活しています。コロナ危機以前からテレワークを活用しており、アメリカのオンライン大学の教授も務めているので、講義は自宅から世界中の学生に向け行っています。また、国内外のテレビにもオンラインで出演するなど、この豊かな自然の中にいながら、世界とつながって仕事をしています。講演や大学院の講義で東京に向く際も、車で80分程度なので全く不便は感じていません。こうした自然の中で生活し、仕事をすることは、健康や精神面においてはもちろん、仕事の能率や創造性という面からも、とても良いものです。また、山梨には温かい人柄の方が多く、これも私にとって、山梨の魅力の一つとなっています。

### パンデミックにも耐えられる

### 「デュアルモード社会」への転換を

コロナの勢いは未だ衰えませんが、

仮に近い将来、コロナが終息を迎えたとしても、これからの新たなパンデミックが何度もやってくるということに覚悟する必要があります。従って、コロナが終息すれば、コロナ危機以前の生活や仕事のスタイルに戻るわけではありません。

コロナ危機後は、政治や行政、経済や経営、福祉や医療、文化や教育など、すべての分野において「ニューノーマル」（新常态）への転換を進めなければなりません。ただ、このニューノーマルとは、政府が提唱する「新しい生活様式」などの感染抑制マナーの次元のものではありません。それは、どのようなパンデミックが襲来しても持続可能な新たな社会システムのことですが、それを私は「デュアルモード社会」と呼んでいます。すなわち、自動車にスポーツモードとエコモードがあるように、社会も、経済効率を重視する「経済モード」と健康と安全を最優先する「安全モード」の2つのモードを持ち、平常時は経済モードで運営しながら、緊急時には速やかに混乱なく安全モードに切り替えていける社会システムを構築するという考えです。

例えば、今回、多くの飲食店が窮余の策として行ったテイクアウトや



# コロナ危機後のニューノーマル「デュアルモード社会」

— 状況に応じて切り替え可能な2つのモードを備えた社会システム —

## 安全モード(緊急時)

### 健康・安全重視

テレワーク・テレビ会議

オンライン授業

オンライン診療

デリバリー・テイクアウト

## 経済モード(平常時)

### 経済効率重視

出社・勤務

通学・講義

通院・診察

店舗での飲食

緊急時には速やかに移行

平常時から組み込み運営

## 感染抑制と経済活動を長期的に両立

デリバリーを、平常時の「経済モード」から事業形態に組み込み、パンデミックが襲来したときには、これらを「安全モード」の事業形態として営業を続けていくことなどが挙げられます。現在、山梨県が進めている、感染症に対して強靱な社会や経済を指す「やまなしグリーン・ゾーン構想」も、この「デュアルモード社会」の考えと軌を一にしています。

### 首都機能と自然環境が融合した「自然首都圏」を創る最適の地域

今回のコロナ危機の深刻な経験から、世界中で大都市への一極集中が問題となり、日本でも首都機能の分散が現実的な課題となっています。

従って、これからは、パンデミックや大震災に備え、首都圏の企業・官公庁の機能や個人の生活・仕事の拠点が豊かな自然を持つ地方に移っていく動きが加速していくでしょう。

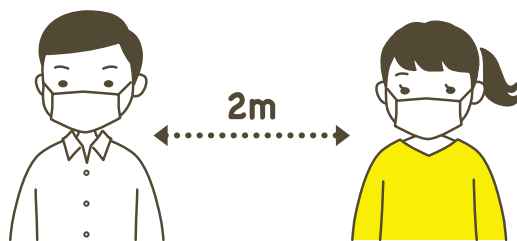
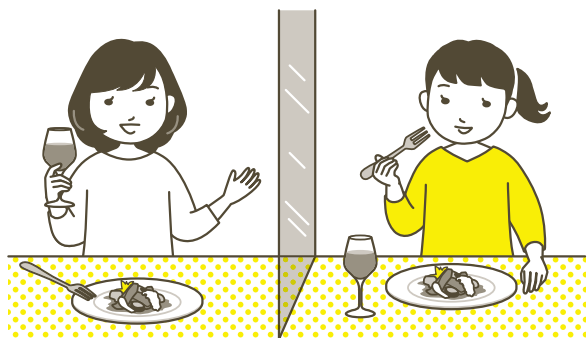
このコロナ危機で人々の接触や移動が制限されたことにより、テレワークやテレビ会議、在宅勤務などの新しい働き方が急速に広がりました。その結果、満員電車で東京のオフィスに毎日出勤しなくとも、自然豊かな地域で快適な生活をしながら、オ

ンラインで仕事をし、必要なときに東京へ行くというスタイルが可能であることが広く理解されたのです。

私は、東京に近く豊かな自然に恵まれた山梨は、首都機能と自然環境が融合した「自然首都圏」になることができ、今後、東京から多くの人が生活と仕事の拠点を移してくると考えています。そのためには、山梨が全国に先駆けてグリーン・ゾーン認証や山梨版CDC（疫病対策管理センター）で「超感染症社会」を実現し、同時に、教育、医療、介護などの環境も「デュアルモード社会」に適合した先進的なものにしていく必要があります。

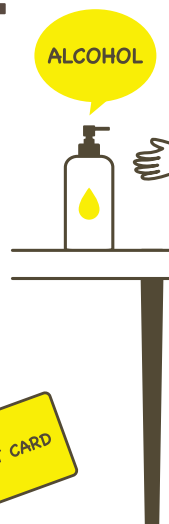
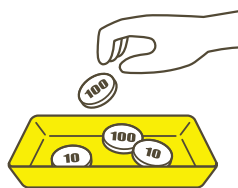
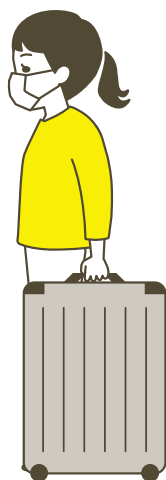
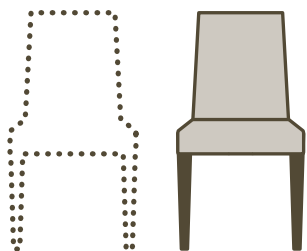
ただ、残念ながら、山梨はこれほど豊かな自然に恵まれながらも、その自然を維持し、景観を大切にしていこうという意識が薄いと感じることもあります。「観光立県」という言葉の一方で、道路脇のゴミや森林の過剰な伐採などが目につきます。「自然首都圏構想研究会」では、そのことも提言していくつもりです。

危機の時こそ、変革の絶好機です。コロナ危機は、地方分権の必要性を強く教えています。いまこそ、山梨が全国に先駆け、新たな地方創生のモデルを示していくときでしょう。



安全・安心に食事や宿泊を楽しめる

## 県独自の制度があるらしい？



ワタシがレポートを作成しました！



都留文科大学  
風間 悠花 さん

新型コロナウイルス感染症が心配で、ずっと外出を控えているけれど、友だちと出掛けたい。でも、少し心配だな...と、皆さん思っていますか？

そんな私たちの不安を解消してくれる制度が山梨県にあるんです。それが「やまなしグリーンゾーン認証制度」。この制度は、飲食店や宿泊施設が行っている感染症対策を申請し、県が現地調査を行い、感染予防対策の基準を満たしていると認められた場合に認証するものです。認証施設には、緑色のステッカーが利用者の目につくところに貼られています。ステッカーの二次元コードを読み込むと、その施設の詳しい感染

コロナがはやってから、外食をして感染したり、させてしまったりしないか心配で...。もっと安心して利用できませんか？

グリーン・ゾーン認証を受けた施設であれば感染症対策が万全です。

認証マークが貼ってあるお店を最近見かけます。

認証取得した飲食店や宿泊施設に貼ってあります。二次元コードを読み取れば、そのお店の詳細な感染症対策が表示されるので、参考にできます。

出掛ける前に認証された施設を調べる方法は？

専用サイトから検索できます。

新型コロナウイルス感染症が心配で、ずっと外出を控えているけれど、友だちと出掛けたい。でも、少し心配だな...と、皆さん思っていますか？



感染症予防と  
経済活動を両立する  
「超感染症社会」を  
一緒に目指しましょう。

感染症に対して、  
私たちができることも  
考えていきたいです。

私が説明させて  
いただきました！



グリーン・ゾーン推進課

主任 小田切 夏樹さん



山梨県は、感染症への対応を余儀なくされた状況でも、  
県民の生命と経済を両立できる「超感染症社会」への  
移行を目指しています。「やまなしグリーン・ゾーン認証制  
度」は、その一環として、県が定めた基準に沿って感染  
症対策を行っている飲食店や宿泊施設を認証するもの  
で、本県が全国に先駆けて始めた独自の制度です。



「やまなしグリーン・ゾーン認証」サイト

予防対策などをチェックすることができます。  
認証を取得している施設や、対策の内容を知  
りたいときは「やまなしグリーン・ゾーン認証」  
サイトを利用すれば、地図上に示されたお店を  
開くだけで施設の情報が分かるので、安心でき  
るお店を探すこともできますよ。  
県では、感染予防対策に取り組む事業者に、  
機器購入や設備改修への助成もしているので、  
身近なお店がもっとこの認証を取得すれば、私  
たち消費者はより安心や信頼をして利用できま  
す。私たちが実際にお店に行った感想などを  
SNSなどで広めていけば、制度が周知され安  
心が広がることにもつながります。この制度を  
うまく使っていけば、誰もが安心して楽しめる  
新しい生活環境、つまり「超感染症社会」をつ  
くれるのです。同時に、私たちがしっかり予防  
意識を持つことも大切です。お店は専門家が考  
えた厳しい基準を守って、私たちを迎えてくれ  
るわけですから、それに対して私たちもマスク  
をしていく、手指の消毒をする、大きな声を出  
したりしないなどのルールをしっかり守らなけ  
ればいけないですね。  
今回、全国に先駆けて山梨県が実施している  
この認証制度を知り、山梨をもっと誇らしく思  
いました。お店と利用者がお互いに感染症対策  
をしっかりすれば、安心して出掛けられるよと  
言ってもらっているような優しさを感じました。  
出掛ける楽しみを見つけるために、このサイトを  
小まめにチェックしていきます。また、県内  
だけでなく、県外からの観光客の方にも食事や  
宿泊をしていただき、山梨の魅力に触れながら、  
楽しい時間を過ごしてほしいです。

【問い合わせ先】グリーン・ゾーン推進課 TEL 055-223-1318 FAX 055-223-1320

やまなしグリーン・ゾーン認証

SNSが生んだ新たなスター  
ティーンの感性で山梨を元気に

YouTuber

**MINAMI**



次へとつなぐ  
若き先駆者たち  
【ネクスト】



## X SNSでみんなとつながって 私の世界は広がっています

MINAMIさんは、8月現在で、YouTubeのチャンネル登録者数が44万人を超える県内在住の中学生。日本だけでなく海外にも多くのファンがいる、ティーンの憧れの人気YouTuberです。

「私は、興味を持ったことや好きなことを動画にして、ほぼ毎日投稿しています。動画を見たファンの方から届くコメントを、学校から帰ってきて読むのが毎日の楽しみなんです。動画がきっかけとなり、日本はもちろん、海外の人たちともつながることができて、世界を身近に感じようになりました。中学生の私でもいろいろなことを発信することができるSNSに、大きな可能性を感じています。動画を見た人が楽しんでくれるように工夫を凝らし、最終的にどんな映像に仕上がるかイメージしながら撮影するのも、すごく楽しいんです」

今年中にチャンネル登録者数を50万人に増やすという目標に向かって、ご家族もMINAMIさんを全面的にサポートしています。「以前から家族はみんな仲良しですが、私がYouTuberになってから会話もさらに増え、母からは『見た人が幸せになってマネしてみたくなることをしようね』とアドバイスをもらうこともありました。家族の支えもあって、SNSでの活動と学校生活の両立もきちんとでき、毎日楽しく過ごしています」

## X 山梨チャンネルPRリーダーに就任 大好きな山梨の魅力を私らしく紹介！

山梨県の公式YouTubeチャンネル「山梨チャンネル」のPRリーダーに就任したMINAMIさん。若者の目線で山梨の魅力を発信していきます。初回の動画撮影はワイナリーとブドウ園で行われました。「山梨に暮らす私でも、ワインの造り方や赤ワインと白ワインの違いなど、知らないことが多かったです。発見したたくさんのお話を伝えていきたいです」と瞳を輝かせるMINAMIさんには、大切にしていることがあります。

「小さなことから頑張って、最終的に目標にたどり着く達成感を大切にしています。しっかりと積み重ねていくことが将来につながると思うからです。SNSでも同じで、見た人が私と一緒に体験している気分になって『ここ行きたい』『これ食べたい！』って思ってもらえる動画を目指して、こつこつ配信しています。山梨チャンネルの動画も、そういう気持ちでつくってきたいです。9月から月に2〜3本、全部で16回、山梨の魅力を伝える動画を私なりに発信していきます。ぜひ山梨チャンネルを見てくださーいね！」



YouTuber  
MINAMIさん

8月現在で、SNS (YouTube、TikTok、Twitter、Instagram) の合計フォロワー数が160万人を超える県内在住の中学生。



▲山梨チャンネルPRリーダー就任式の様子



▶ワイナリーとブドウ園で行われたPR動画撮影の様子



県政の情報や県の魅力を動画で発信中



「山梨チャンネル」の登録をお願いします





- 01\_ ワインカーヴをイメージした入り口
- 02\_ レストラン内のワインディスプレイ
- 03\_ 県産木材を使用したレストラン
- 04\_ お薦め料理「ヤマナシフォンデュ」
- 05\_ 県産酒300種超がそろふ物販スペース
- 06\_ 料理に合うワインを提案

## 食の体感拠点

カーヴ

ド

# “Cave de ワイン県やまなし” 東京・日本橋にリニューアルオープン

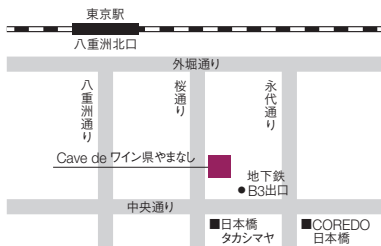
昨年の8月7日に、日本ワイン発祥の地として「ワイン県」を宣言してから1年。これに合わせ、東京・日本橋にあるアンテナショップ「富士の国やまなし館」が、ソムリエでワイン県副知事を務める田崎真也さん監修のもと、ワインを中心とした県産酒と、山梨の食材のマリアージュを提案するアンテナレストラン「Cave de ワイン県やまなし」に生まれ変わりました。県ではこれからも、ワイン県やまなしの魅力を広く発信する取り組みを行っていきます。

## 東京にいなながら山梨を体感できる新拠点

店舗の入り口は、ワインを貯蔵する地下蔵(Cave)をイメージした造りになっています。店舗内には300種類を超えるワインだけでなく、日本酒やビールなどの県産酒を豊富に取りそろえた物販スペースがあり、都内随一の品ぞろえになっています。

最大の特徴は物販スペースの奥に位置する、県産木材を使用した温かみのあるアンテナレストランです。ここでは、ワイン県副知事の田崎さんが県産ワインとのマリァージュをイメージして考案した、県産食材を使った料理を提供しています。中でも甲州牛や鹿肉などをオイルで熱し、ソースを付けて食べる「ヤマナシフォンデュ」がおすすめです。これは山梨県と姉妹都市である、フランス・ブルゴーニュ地方、ソニー・エ・ロアール県の地方料理を取り入れ、ソースには、同じく姉妹都市である中国・四川省のスパイスを使用するなど、山梨と関係が深い地域とのつながりが感じられます。その他、昨年出荷が始まった山梨のブランド魚「富士の介」や、吉田のうどんを使った料理など、県を代表する食材を生かした料理を楽しむことができます。また、店内にはワインディスプレイを設置し、料理ごとに合うワインを提案できる仕組みになっています。

メディア関係者を招いたレセプション



東京都中央区日本橋2-3-4  
日本橋プラザビル1F

【レストラン】  
TEL 03-3527-9185 定休日 日曜日・祝日・年末年始  
営業時間 平日11:30~14:00、18:00~22:30  
土曜17:00~22:00(要予約)

【物販スペース】  
TEL 03-3241-3776 定休日 年末年始  
営業時間 平日11:00~21:00  
土日祝11:00~17:00

※コロナ対策のため営業時間が変更になる場合がありますので店舗にご確認ください



レセプションパーティーに出席した田崎真也さん、渡辺大さん、長崎知事、林真理子さん(左から)

ンには、田崎さんのほか、作家で同じくワイン県副知事の林真理子さん、俳優でやまなし大使の渡辺大さん、長崎知事が出席。知事は「ここは県の豊かな食文化を発信する東京の窓口です。ぜひ山梨が詰まったこの施設に、ワインと食のマリァージュを体感しに来てください」とあいさつし、ワイン県の新しい拠点をPRしました。

## 県産ワインで「かんぱい!!」 ワイン県宣言1周年イベント

ワイン県宣言からちょうど1周年となる8月7日に、県産ワインを楽しむ記念イベントを開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン中継で行われたこのイベントでは、女性醸造家3人と、ワイン好きのインフルエンサー30人が県産ワインの魅力や可能性、楽しみ方などを発信。花火の日(8月7日)にちなみ、市川三郷町、韮崎市、甲州市で花火を打ち上げるなど、視聴された皆さんとワイン県1周年を祝いました。

6月には、甲州市が茨城県牛久市とともに、日本初のワイン造りを始めたことと、140年にわたる歴史のストーリーが評価され、日本遺産に選ばれるなど、山梨のワイン文化の歴史はますます醸成を重ねています。多くの人がワインをきっかけに、山梨が誇る日本酒などの県産酒や食材、歴史や文化に興味を持っていただけるよう「ワイン県」やまなしを積極的に盛り上げていきます。



オンライン中継で乾杯をするインフルエンサーたち



ワイン県1周年を記念し製作されたワイングラスをかたどった花火





## NEWS 知事自ら山梨が誇る“芸術品”を応援!



「山梨で元気に育ったおいしいモモをお召し上がりください」とPRする知事

### 大阪市中央卸売市場において 「フルーツ王国やまなし」をPR

山梨県はモモ、ブドウ、スモモなどの生産量が日本一を誇る「フルーツ王国」です。その魅力を全国にPRするため、県産果実が旬を迎える時季に合わせて、長崎知事自らトップセールスを行っています。

大阪市中央卸売市場で取り扱うモモの約3割を山梨産が占めており、関西も県産果実の一大消費地になっています。より多くの関西の消費者に山梨のモモを届けられるよう、7月17日に大阪市中央卸売市場においてプロモーションを行い、最盛期を迎えたモモを展示したほか、市場関係者に配布しました。共催者のJA山梨中央会の澤井会長は「今年は天候に恵まれ、また生産者の匠の技のおかげで、ここ数年で一番いいモモに仕上がっている」と市場関係者にPR。長崎知事も「手に取って、頬張ってもらえれば分かる、幸せの味となっています。『フルーツは山梨』という真の姿を多くの関西の消費者の方に体感していただきたい。山梨のモモを食べて、新型コロナウイルスを吹き飛ばしましょう」と力強く伝えました。

また、セリ場でも「多くの消費者の手に届けられるよう、山梨のモモ、フルーツをよろしく願います」と、市場関係者に向けてあいさつしました。

県では今後も、全国の皆さんに山梨の高品質な果実を選んで、食べていただけるよう、県を挙げて精力的にアピールしていきます。



今年は感染症拡大防止のため試食を行わず、市場関係者にモモを配布

### 赤いシャインマスカット“甲斐ベリー7”を視察

山梨市にある果樹試験場は、県の果樹生産技術の向上やオリジナル品種の育成、また情報発信基地としての役割を担っています。このたび試験場では、赤系のサニードルチェとシャインマスカットを交配した新たなオリジナル品種「甲斐ベリー7」を開発しました。シャインマスカット同様、糖度が高く、種なしで皮ごと食べられることから、「赤いシャインマスカット」として、新たなブランド品となることが期待されています。この苗木は、12月をめどに県内農家へ供給することとしています。

視察のため果樹試験場を訪れた長崎知事は「実の張りや色付きも良く、シャインマスカットに負けないおいしさ。皮ごと食べられるので、口の中に一気に弾ける甘さがたまらない。早く生産農家さんの元に届けて、山梨の果樹産業を一緒に盛り上げていただきたい」と強く語りました。



果樹試験場長から甲斐ベリー7の説明を受ける知事



# 県・市町村が一丸となって「児童虐待ゼロやまなし共同宣言」を実施

## 子どもたちを虐待から守る



県庁で共同宣言を行った樋口甲府市長、長崎知事、佐野南部町長(左から)

県内の市町村や児童相談所が対応した児童虐待相談件数は、年々増加しています。また今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う外出自粛により、家庭内で過ごす時間が増えたことから、虐待が潜在化する恐れや、児童虐待のさらなる増加が懸念されます。

児童虐待を防ぐためには、県・市町村・関係機関が連携し、虐待の早期発見、早期対応に取り組むことが重要です。児童虐待を絶対に許さないという強い決意を表すため、8月12日に知事と県内27市町村長が「児童虐待ゼロやまなし共同宣言」を行いました。

長崎知事は共同宣言における決意表明で「全ての子どもが、持てる可能性を伸ばし、生き生きと生活できる、本来あるべき姿を実現できるよう、全力を尽くす」と述べました。また、27市町村を代表して出席した市長会会長の樋口雄一甲府市長、町村会会長の佐野和広南部町長からは、地域の宝である子どもたちが安心して生活できるように守り、子育て世帯の環境などを理解しながら、寄り添う支援を行っていく旨の発言がありました。

今後は児童虐待根絶に向け、関係機関などによる協議会を設置し、連携をさらに強化するなど、子どもたちの笑顔を守る取り組みを積極的に行っていきます。



「児童虐待ゼロやまなし共同宣言」と知事と各市町村長の「ひとこと宣言」



# 託児所「きっずる一む県庁別館」が開所

## 子育て世代に寄り添える県庁に



木の温もりあふれる託児スペースで持参したおやつを食べる様子

乳幼児を連れた県庁来庁者や、子育て中の県職員の子どもを一時預かりする託児所「きっずる一む県庁別館」が、8月3日に開所しました。この施設では、生後6カ月から小学校就学前までの子どもを、同時に最大10人預かることができます。

施設にはおもちゃや絵本などがそろった遊び場のほか、トイレやシャワーなどを備えています。また常駐している保育士と、庁内を散歩したり、夏場にはビニールプールで遊んだりするなど、来庁者は用事を済ませる間、県職員は働く間、安心して子どもを預けることができます。子どもが楽しみながら過ごせるサービスが充実しています。

施設を利用している職員からは、「一緒に職場まで来て、一緒に帰るのが新鮮でうれしい」「急な体調の変化や災害時などにも、近くにいるからすぐに駆けつけられて安心」などの声が聞かれます。子育て世代の来庁者が県庁を安心して利用していただくことができ、県職員にとっては、県庁が働きやすい職場となるよう、施設の周知と、子育て世代に対するサービスの向上に努めていきます。



県庁中庭で水遊びをする子どもたち

### きっずる一む県庁別館のご案内(来庁者向け)

- 開設時間:午前8時~午後6時(平日)
- 料金:無料
- 利用申込:電話予約のみ(080-1352-9387 当日予約可)
- 利用定員:10人

### 〈特別展〉クールベと海 —フランス近代 自然へのまなざし—

19世紀に活躍したフランスの画家クールベは、伝統的な美術や政治体制に反発し、あるがままの現実を描き留めたリアリズム(写実主義)の画家です。スキャンダラスな作品を発表する一方、大人になって初めて目にした海の風景や、故郷の山々などを描きました。

本展では、クールベの海の絵画を中心に、風景画や狩猟画、モネやミレーによる海の絵画など約70点を展示し、クールベが風景画の歴史に残した足跡を探ります。

甲府市貢川1-4-27  
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

山梨 美術館



開催期間 ~11月3日(火・祝)

観覧料 一般1,000円/大学生500円  
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



ギュスターヴ・クールベ《波》  
1869年  
(愛媛県美術館蔵)



ギュスターヴ・クールベ《エトクタ海岸、夕日》  
1869年  
(新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵)

### 〈秋季企画展〉縄文土器のものがたり

縄文時代の中頃に製作された土器には、物語を語るかのようにヒト・ヘビ・イノシシ・カエルなどが装飾されました。また、渦巻く水の流れを思わせる水煙土器をはじめとした、華やかで抽象的な文様の土器もあります。

世界的に見ても珍しい豊かな装飾を持つ縄文土器には、縄文人によるさまざまな物語が込められています。本展では、縄文土器から読み取れる8つの物語を紹介します。

甲府市下曽根町923  
TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

山梨 考古博物館



開催期間 ~11月23日(月・祝)

観覧料 無料



水煙土器(上野原遺跡出土 縄文時代)  
(山梨県立考古博物館蔵)



深鉢形土器(海道前C遺跡出土 縄文時代)  
県指定文化財(山梨県立考古博物館蔵)

### 〈第12回展示〉郷土山梨の文化の発展に貢献した人々 —県立博物館開館15周年—

「文化」とは私たちにとってどんなものでしょう。知る喜びそのものであったり、さまざまな知的財産のよりどころであったりもするでしょう。山梨県には、芸術や教育、学術研究など「文化」を創造し育んできた先人たちが数多くいます。本展では、文化を次世代へと継承する施設である県立博物館の開館15周年に合わせ、郷土山梨の文化の発展に貢献した人々を紹介します。

甲府市丸の内1-6-1  
TEL 055-231-0988 FAX 055-231-0991

山梨近代人物館



開催期間 10月3日(土)~令和3年3月28日(日)

観覧料 無料

※当館は土日・祝日のみの開館。詳しくはホームページをご確認ください。

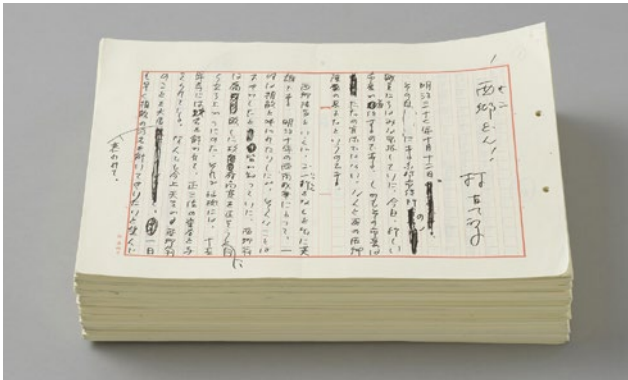


峡中新聞(山梨最初の新聞)を刊行した内藤伝右衛門とその養母満寿を中央(2列目)に収めた写真(山梨県立博物館蔵)

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

## 〈企画展〉まるごと林真理子展

林真理子さんは、1982年にエッセイ集「ルンルンを買っておうちに帰ろう」がベストセラーとなり、1986年に発表した「最終便に間に合えば」「京都まで」では、直木賞を受賞されました。その後も旺盛な執筆力で、多彩なテーマの小説を巧みな語り口で描き、現在も第一線で活躍し続けています。故郷では初開催の展覧会となる本展は、原稿や愛用品、写真など約150点の資料により、作家としての軌跡を紹介します。



「西郷どん」原稿（個人蔵）

甲府市貢川1-5-35  
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

山梨 文学館



**開催期間** ～11月23日（月・祝）  
**観覧料** 一般600円／大学生400円  
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

ふれあいの読者の皆さんのために色紙に  
直筆メッセージを描き下ろしていただきました!!



直筆メッセージは本展にて特別に公開しています

## 〈開館15周年記念特別展〉

# 未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの

～新指定文化財・収藏品展～

本展では、近年、文化財指定を受けた資料を中心に、新たな「県民の宝」を公開し、郷土やまなしが育んできた豊かな文化と、それを守り伝えていくことの大切さを紹介します。さらに、本年の秋に開館15周年を迎える博物館がこれまで収集してきた資料の新たな魅力もお伝えします。

笛吹市御坂町成田1501-1  
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

山梨 博物館



**開催期間** 10月24日（土）～12月7日（月） **観覧料** 一般500円／大学生250円  
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



釈迦三尊十八羅漢図（三幅のうち中幅）  
国重要文化財（一蓮寺蔵）



勝軍地藏騎馬像（部分） 康清作  
県指定文化財（清水寺蔵）

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



商品提供: 桑郷

## 「桑の実丸ごとジャム」抽選で5名の方に!

「美味しい甲斐開発プロジェクト」については、ホームページをご覧ください。

美味しい甲斐



## アンケートに答えて応募しよう!

【アンケートの回答】と次の①～⑥をご記入の上、はがき、電子メール、ファクスのいずれかの方法でご応募ください。

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス(ある方)

### ●アンケート

問1: 今号の中で最も関心を持った内容は?

問2: PRリーダーMINAMIさんに期待することは?

※いただいたご意見の一部を紹介させていただくことがあります。

### ●応募先

山梨県広報グループ「ふれあい読者プレゼント」係

はがき: 〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1

電子メール: koucho@pref.yamanashi.lg.jp

(件名に「ふれあい読者プレゼント」と入力)

ファクス: 055-223-1525

### ●締め切り

10月31日(土)(当日消印有効)

賞品の発送をもって、当選発表に代えさせていただきます。個人情報は賞品の発送のほか、県からのお知らせなどのために、使用させていただくことがあります。

多言語翻訳や音声読み上げに対応したデジタルブック

## カタログポケット



「ふれあい」の誌面がそのままパソコン、スマートフォン、タブレットで閲覧可能です。

《FUREAI》雑誌の电子版可以在智能手机或者平板电脑客户端浏览。(中国語・簡)

You can now read pages from Fureai directly on your smartphone, tablet, and other devices. (英語)



Google Play

App Store

こちらを使うと簡単にダウンロードできます。または「Google Play」「App Store」で検索

スマートフォンを使って「ふれあい」をもっと身近に

## スマートフォン専用Webサイト



「ふれあい」の誌面をスマートフォン専用のWebサイトでもご覧いただけます。言語切替えが可能で、ページが縦と横にスクロール表示されるので、スマートフォンで読みやすくなっています。



## 県政情報発信中!

県ホームページ



Facebook



Twitter



広報番組



広報誌



ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

やまなしの県有林は、森林管理  
認証を取得し、世界的な基準で  
豊かな森づくりを行っています。



やまなし森の印刷紙  
この印刷紙には、FSC®森林管理  
認証を取得した山梨県有林からの  
木材が使用されています。